

ソーシャル・イノベーションで挑むグローバル・リーダーの育成

<育む5つの力> 価値創造力・協働力・突破力・寛容力・教養力

スーパーグローバルハイスクール


京都府立鳥羽高等学校
 〒601-8449 京都市南区西九条大國町1 TEL 075-672-6788

鳥羽高校は、平成27年度よりSGH校として新たな価値を創造するグローバル・リーダーの育成に取り組んでいます。

クイーンズランド工科大学との遠隔授業

1月15日(水)、オーストラリアにあるクイーンズランド工科大学の先生方と、世界最高速級の学術通信ネットワーク「SINET」を用いて遠隔授業を行いました。1年生4名と2年生15名の計19名が参加し、「グローバル社会とは」、「世界の文化の共通点や相違点」、「文化はどのように構築されるのか」というテーマの講義を受けました。日本にいながら海外と繋がり、その文化に触れることで、講義の中で挙げられたグローバル人材に必要な資質である「異文化を理解するために人々の話を聞く力」、「多角的な尺度を用いて文化を見る力」を向上させることができました。



生徒の感想から

- ◆ グローバル人材としてだけでなく、これからの社会人として必要なことをたくさん学べた。
- ◆ オールイングリッシュの授業をとおして、外国語や異なる文化を学ぶ意欲が高まった。

グローバル思考力コンテスト

1月23日(木)、グローバル思考力コンテストを開催しました。このコンテストは、事前に与えられた課題に対する自分の考えをもとに、グループでの話し合いをとおして合意形成へと繋げるための思考力を養うことを目的としています。今回与えられたテーマは「『京都の観光』についての諸問題で取り組むべき最重要課題の検討」です。民泊、交通、治安やマナー、景観、宿泊税、観光税に関わる問題についてグループごとに議論を行い、最優先課題として取り組むべき課題の精選をしました。実施後、分析力・論理力・想像力・表現力の4つの観点に基づいて優秀班が選出されました。



グローバルネットワーク京都交流会

2月1日(土)、グローバルネットワーク京都交流会が開催され、本校を含む府立高校9校が参加しました。SGH台湾海外研修に参加した2年生5名は、現地で調査した課題研究について英語でプレゼンテーションを行いました。3チームからなる2年生計11名はポスターセッションに参加し、「インドの水不足をUNICEF等の団体と協力し、ナノテクノロジーの分野から解決するには」等の様々なテーマについて発表をしました。また、グローバル科1年生全員が聴衆として参観し、次年度の研究に向けて視野を広げることができました。



全国高校生フォーラム

12月22日(日)、東京国際フォーラムで文部科学省主催の全国高校生フォーラムが開催され、本校からは2年生4名と「アジア高校生架け橋プロジェクト」により本校に留学しているモンゴルからの留学生1名が参加しました。全国のSGH校・SGHアソシエイト、WWL事業拠点校・事業共同実施校・事業連携校、グローバル型指定校等の高校生たちと「イノベーション探究II」における課題研究内容について英語でポスター発表と質疑応答を行いました。また、持続可能な開発目標(SDGs)についても英語で議論を行いました。



1年生 「総合的な探究の時間」・「イノベーション探究Ⅰ」の取組

立命館大学での課題研究宿泊研修

1月11日(土)・12日(日)の2日間、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて、グローバル科を対象に宿泊研修を実施しました。「イノベーション探究Ⅰ」における課題研究内容を深めるため、TA(ティーチング・アシスタント)の講評を受けながら、2月22日(土)に開催される最終発表会(下欄に掲載)に向けて準備を進めました。また、TAから大学や大学院での研究生活の様子に関するお話を聞き、自分自身の将来のキャリア選択について考えました。



生徒の感想から

- グループ内で意見が合わなかった時は相手の意見を尊重したり、自分の意見を説明するなどの協働学習を多くできたのでとてもよかった。
- たくさんの選択肢の中からすぐに1つに絞るのではなく、周りをよく見ることの大切さをTAの方から教わった。

課題研究発表会

「京の智」の再発見をテーマとした課題研究について、フィールドワークや論文検索をととして調査した結果をもとにプレゼンテーションを行いました。

「総合的な探究の時間」(普通科)



1月25日(土)、普通科理数人文コースの課題研究発表会を実施しました。福知山公立大学の杉岡秀紀准教授とTAの方々、大阪大学のTAの方々及び本校卒業生に参加していただき、オリジナリティの必要性やグラフの効果的な提示方法など、今後の課題研究に向けた助言をいただきました。

〈研究テーマ例〉 京都におけるオーバーツーリズム
～交通と環境～

「イノベーション探究Ⅰ」(グローバル科)



2月22日(土)、グローバル科の課題研究発表会を実施しました。修徳まちづくり委員会の荒川晃嗣氏、京都光華女子大学の乾明紀准教授、武庫川女子大学の加登遼先生、京都大学の神吉紀世子教授、京都文化博物館の村野正景学芸員に助言をいただくことができ、次年度に向けて成果と課題を共有することができました。

〈研究テーマ例〉 若者の視点から京組紐の新しい価値を見出す

SGH台湾海外研修

12月23日(月)から12月27日(金)の5日間、1年生3名、2年生7名の計10名が台湾での研修に参加しました。

国内・海外インターンシップ

12月6日(金)、事前研修として片岡製作所の京都本社を訪問しました。片岡宏也取締役から会社概要をお話いただき、工場見学をしました。現地での研修では12月25日(水)午前台湾片岡股份有限公司を訪れ、台湾での事業展開やグローバル企業で働く中で求められる資質・能力について学びました。午後からは般若科技股份有限公司(SOLAS)を訪れ、林允進総経理からSOLASの起業から現在に至る企業経営についてお話いただきました。



現地学生との交流

12月24日(火)、国立台湾大学において課題研究に係るインタビュー調査を大学生に行いました。また、12月26日(木)には台中市立台中工業高級中等学校を訪れ、ディスカッションや交流会をととして課題研究内容を深めました。



フィールドワーク

台中・台北において、課題研究「メディア誘発型の有効性」を深めるためにインタビュー調査を行いました。調査内容を踏まえて作った動画について、帰国後に台湾観光協会大阪事務所からアドバイスをいただきました。

